

平成 26 年度（平成 27 年産）麦類作況試験生育ステージ（速報）

作物名	品種	茎立期 (主稈長2cm)		減数分裂期 (幼穂長3cm)			出穂期 (出穂40～50%)			予想される 成熟期 (月/日)
		本年	平年	予測値	本年	平年	予測値	本年	平年	
		(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	
六条大麦	シュンライ	3/30	4/2	4/17	4/16	4/24	4/25	4/25	5/1	6/4～6/9
	ミノムギ	4/2	4/5	4/22	4/18	4/26	5/1	4/28	5/5	6/7～12
小麦	あおばの恋	3/20	—	4/22	4/19	—	5/4	4/30	—	6/14～6/19
	シラネコムギ	4/1	4/11	4/28	4/23	5/1	5/7	5/2	5/12	6/16～6/21
	ゆきちから	4/5	4/15	4/28	4/23	5/1	5/8	5/3	5/13	6/17～6/22

注1) 平年値は過去5か年の平均値(平成25年度を除く)。あおばの恋は平成22年度から供試のため平年値はない。

2) 播種期は10月20日。

3) 減数分裂期予測値: 4月10日時点での主茎幼穂長から予測した減数分裂期(普及に移す技術第86号)。あおばの恋は暫定的に設定した値を用いて予測。

4) 出穂期予測値: 4月10日時点での主茎幼穂長から予測した出穂期(普及に移す技術第84, 85号, 88号, 普及成果情報-東北農業・作物(畑作物栽培))。

5) 「予想される成熟期」は登熟期間を大麦: 出穂後40～45日, 小麦: 出穂後45～50日として算出。

〔作況試験生育概況〕

播種後に適度な降雨があり、日照も十分であったことから大麦、小麦ともに出芽は概ね良好であった。1月中旬以降高温傾向で経過したことにより、大麦、小麦ともに生育量は平年に比べて多い傾向であった。4月10日時点での生育ステージは平年より早く、4月下旬以降も好天が続くことより生育ステージは早く進行している。

平年と比較して、減数分裂期は大麦、小麦ともに－8日程度となった。出穂期は大麦で－6～7日、小麦で－10日程度となった。予想される成熟期は大麦、小麦ともに平年より早い見込みである。